



平成 20 年 5 月 21 日

各 位

会社名 大豊建設株式会社
代表者名 代表取締役 岡村康秀
(コード番号1822 東証第1部)
問合せ先 管理本部総務部長 中杉 正伸
(TEL03-3297-7000)

「企業体質改善計画」の概要について（お知らせ）

当社は、本日の取締役会において、「企業体質改善計画」を策定いたしましたのでその概要についてお知らせいたします。

1. 中期的な建設市場の動向について

建設業界を取り巻く環境は、公共工事の予算の縮小、旧来の業界慣行の崩壊、供給過剰・競争激化による行き過ぎた落札率の低下、建築基準法改正による工事の発注の遅延および資機材価格・労務コストの上昇など不安要因を抱えており、中期的に厳しい経営環境が続くと予想されます。

2. 「企業体質改善計画」の概要について

このような状況を踏まえ、企業の継続的な維持・発展のため以下の「企業体質改善計画」を策定し、取り組むことといたしました。

(1) 基本方針

「収益基盤の確立」「経営効率の改善」「財務体質の強化」を経営の柱とし、平成 20 年度に営業利益の黒字転換を果たす。

(2) 具体的な取り組み

具体的には以下の対応策を徹底して実行することとする。

- ・コスト縮減、審査機能の強化、選別受注の徹底、赤字受注の排除により、必要な利益を確保する。
- ・総合評価落札方式の対応については、得意分野へ案件を絞り込み、積算精度を向上させ、競争力をつける。
- ・コンプライアンスの徹底、内部統制システムの確立。
- ・保有資産の売却等流動化により、財務体質を強化する。
- ・企業規模に合った人員体制を早期に確立する。

3. 平成 20 年度主要数値目標

(単位：百万円)

	連結	単体
受注高	144,000	107,400
売上高	165,000	114,200
売上総利益 (%)	7,000 (4.2%)	4,070 (3.6%)
一般管理費	6,100	3,900
営業利益	900	170
経常利益	1,800	10
当期純利益	1,100	120

当社といたしましては、今後全社を挙げて「企業体質改善計画」の具体的な取り組みを推進してまいり所存でありますので、株主の皆様、お取引先の皆様におかれましては、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

本資料に掲載されております計画、予測または見通しなど将来に関する事項は本書面の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要素により異なる結果となる可能性があります。